

ひろしま 往来物語

雲石街道・可部編

⑦

6年にオープン。「可するNPO法人「あいねつと」も旧街道で笑って生きよう」という願いを込めて名付けた。

天井は高く、はりも太い。「古い町家の雰囲気」が心を和ませる。お年寄りの交流の場になっている。

1964年以降、旧街の往來は激減し、フードバンクを運営

1万人以上が訪れる。道の往來は激減し、フードバンクを運営

1964年以降、旧街の往來は激減し、フードバンクを運営

1万人以上が訪れる。道の往來は激減し、フードバンクを運営

最近では木製ポストや一輪押しを軒下に飾る民家も目立つてきた。

「景観保全の思いが共有できつつある」と住民グループ可部夢街道まちづくりの会の深田雄治会長(79)。

町並みを大切に一人一人の気持ちで旧街道の明日を支える。

(有岡英俊)

雲石街道・可部編おわり

白い土壁が町並みに映える。広島市安佐北区可部の旧雲石街道の一角にあるコミュニティサロン可笑屋。喫茶スペースでは、地元の人たちがコーヒーを飲みながら話そう。

NPO法人

町並み再生

心和む風情 交流の拠点



可笑屋で談笑する住民。旧街道の交流拠点になっている (撮影・宮原滋)

